

Ⅲ6 遊びをせんとや

日本の人々が輪になって踊る。

おぼば おぼば

雀 百まづ おどろおれず

聖徳太子の お導きとや

夢の夢の夢の世を

うつし顔して 何じょうぞ

おぼば おぼば

三つ子の魂 百まづも

お太子さんに 献じましよう

Ⅲ7 聖徳太子

彼方より聖徳太子の姿があらわれる。

太子、舞う。徐々に力強く。

舞終わり、

太子 「欲望とともに、文明はこの国にたどりついた。シルクロードの終着点、日本。」

Ⅲ8 十七条憲法

太子 「今こそ、この言葉をもって振りがえろう。十七条憲法より、」

和を以て貴しとなす

太子 「身分上下に関わらず、」

篤へ三宅を敬え

詔をうけて謹め

礼をもって本とせよ

太子 「礼節は思いやりを知ること。」

饗を絶ち欲するを棄て 明らかに訴えを

Eriko 「贅沢を捨て、」

Anco 「賄賂をやめ、公明正大、」

2 REN Pippi 「民の声を聞く。」

太子 「権力は腐敗しやすいものゆえ。」

悪しきを懲らし善を勧むる

人おのおの任有り

早くまゐりて晏退かれよ

信は是義の本なり

こころいかり絶ちて おもていかり棄て

TAEKO 「異なる意見を受け入れ、」

「怒りに支配されることなく、」

功と過を明らかにし

「隠れた功績、隠れた罪、」

国に二君なく民に両主無し

「見逃がさぬように、」

もろもろ

諸の官

嫉妬有ること無かれ

太子 「さらに、人をうらやみ、ねたむことは、」

わたくし

私を背きて公に向く

太子 「この世で最も愚かで悲しきこと。人のできることをうらやむより、自分のできることを精一杯行う。

また、人のところを熱く動かそうと思えば、その人の言い分を熱く聞くべきであります。」

いにしえ

りょうてん

古の良典なり

太子 「この国の今は、気の遠くなるような時間と血と涙をもって、祖先が現実化したもの。

すなわち、今を生きるひとりひとりの志しが未来をつくる…」

ただ

それ事独り断むべからず 必ず民とともに

太子 「我らが真実、戦うべきは、怖れ、恐怖でありましょう。恐怖は不安より出で、疑いを生み、戦争を引き起こす、人類最大の敵。」

太子が剣を抜き、舞う。

M8b

太子 「日本に今一度、この言葉を…和をもって、和をもって…和をもって貴しとなす。」

M9 聖徳太子讃歌

和のこころ 日出る国より 広めんと

生まれし光り 厩戸の皇子

現世の架け橋 この世の闇を 照らせよ

天の川 宙の果てより おまえに 伝えよう

この星の 進みゆく道 千四百年
のちのその名は 聖徳太子

「和をもって貴しとなす!」

幕。